

バドミントン

学童オリンピック大会 男女アベック優勝

3月3日に唐津市文化体育館で行われたJ A杯第26回佐賀新聞学童オリンピック大会バドミントン競技で、多久スポーツピアが6年以下男女と4年以下女子で優勝を飾りました。

田中昌樹監督は、「学童6年以下の部は優勝しことがなかったのに、アベック優勝できて良かった。昨年の結果をバネに頑張ってくれたのがうれしい」と選手の成長を喜んでいました。

多久市文化連盟 文化功労者表彰

平成23年度の文化功労者表彰式が2月18日に中央公民館で行われました。



受賞者は次の方々です。(敬称略)

芸術文化功労賞

小野 慧子 (美術協会)
住田ノブ子 (茶道会)
原口 豊秀 (音楽協会)
田中 敏勝 (囲碁将棋連盟)

芸術文化賞

林田 豊辰 (音楽協会)
塚本 尹子 (音楽協会)
中原 光子 (茶道会)
秋山 芳泉 (美術協会)
佐藤トシミ (服飾手芸友の会)
三好 正章 (囲碁将棋連盟)

芸術文化奨励賞

山口香緒理 (華道会)
武富 律子 (文芸協会)
本島 高司 (民踊舞踊連盟)

男子6年以下

荒谷 亮 (東部小)
古賀健太郎 (牛津小)
太田 若菜 (西部小)
松本 晃輝 (中部小)

女子6年以下

黒岩はるな (東部小)
荒嶋 真子 (緑が丘小)
江里口梨奈 (東部小)
田久保麻希 (東部小)
香月 莉緒 (緑が丘小)

女子4年以下

田中 果帆 (北部小)
江里口玲奈 (東部小)
今泉 美玖 (南部小)
辛川 美結 (簗木小)
高橋 乃愛 (中部小)



▲優勝を喜ぶ多久スポーツピアバドミントンのみなさん

市長コラム

温|故|創|新|

Message for citizen

新社会人・新大学生への期待

市長 横尾俊彦

大震災から1年が経過した3月、平穏で無事に式を迎えられることに感謝しつつ市内の卒業式に参加しました。そして思いを込めて、お祝いと励ましのメッセージを贈りました。幼さから凛々しさへと表情も引き締まり、健やかに育つ姿には感動も覚えます。「頑張つて」と祈念しました。

桜開花も遅れそうとのニュースとともに、被災地の卒業式報道を見る機会がありました。苦難の中、明確な使命感を感じるメッセージが心に響きました。「将来は故郷に帰り、人に役立つ仕事をしたい」「大学で学び復興に役立ちたい」「政治を正したい」などの熱いメッセージが光っています。

明確な目標をもつ若者達は、きっと将来成し遂げていくだろうと思えました。まさに貴重な「世の宝」です。自分はこの時期にここまで明確な目標を持っていたらどうかとも感じました。4・5年後には使命感に燃える若者達が今回の被災地に続々と登場するかもしれません。先日出会った岩手の大学生はボランティアからNPOに就職し、その中軸になる道を選んだといっています。入学時には想像もしなかった進路だそうです。でも生きがいを感じて選択し、未知の旅立ちへ不安はなく、希望と使命感に燃える横顔が印象的でした。

4月に新社会人、新大学生となる諸君には、大いに学び、友情を深め、自己研鑽し、将来活躍の本舞台に向け飛躍してほしいと期待します。